



2010年4月14日  
第325号

日交支部  
教宣部  
発行責任者  
鷲尾順章  
981-1107  
仙台市太白区  
東中田1丁目1-11  
022-241-8333

# 玉虫色の決着 供給過剰対策 事業者まかせ

## 第5回仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会

4月9日、第5回仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会が仙台市青葉区のパレスへいあんで開催され、タクシー事業の適正化および活性化に向けた地域計画が全会一致で承認されました。

議事の前に、座長である関西大学 安倍誠治教授の講演があり、「タクシー事業の適正化・活性化の啓と課題」と題し、同一地域同一賃金が見直された背景や規制緩和で生じた弊害、適正化・活性化法が成立するまでのいきさつと課題が説明されました。

議事では、事前に提示されていた地域計画(案)に対し、質疑応答があり、その後、挙手による採決があり、全会一致で承認となりました。承認の後、安倍座長は「減車がすすまなければ行政、市民、マスコミからタクシー業界が見放される。いかに減車をすすめ、運賃問題をどう解決するかが今後の課題である」と話しました。

木場 宣行東北運輸局長は「昨年11月の協議会設置以来、少し見通しは明るくなったが、今後明るさは大きくなるか、きえるか。策

定から実施まで、本協議会を応援団として使っていく。可能な限り汗をかいていこうと思う。今日がスタートです。がんばりましょう」と挨拶しました。

### 強制力なしの 地域計画

地域計画では、過度な運賃競争への対策や接客品質の向上、需要創出による活性化、運転者の労働条件の改善、都市交通問題の改善など目標として掲げられています。

また、諸問題の根幹は供給過剰であり、目的の達成には関係者が供給過剰状態の解消に努めるべきであると明記されています。

減車については、東北運輸局が第1回の協議会で発表した適正台数2020両または2240両と明記されるが具体的方法については示されず、各事業者の事業計画で上がってくる減車台数の総計とされており、各社の判断任せとなっています。また、申請期限についても特に設定されていません。

## キグルミ着ながら 最賃底上げを 明るく宣伝

### 3・18地域総行動

3月18日、宮城県春闘共闘会議は3・18地域総行動を展開し、通信労組ストライキ・集会、最賃宣伝行動、春闘勝利決起集会など行われました。



きぐるみ姿の山田執行委員

員の方々にチラシを配布しました。また、始業と同時に行われたスト集会に参加しました。最低賃金の宣伝行動は正午からフォーラス前で始まり、日交支部参加者4名も「賃金の底上げで景気回復を」とかかれたチラシとティッシュを配布を、着ぐるみを着たりしながら通行人に配りました。また、街頭アンケートの協力をお願いしました。

鶴田副支部長は、街頭でマイクを持ち、「デフレ不況の中、賃金が上がらないと消費の拡大はありえない。最低賃金1000円以上の確保は安心して働くためにもますます重要になってくる」と最低賃金の引き上げについて通行中の市民に訴えていました。

アンケートに協力を頂いた方々は「早く賃金が上がってほしいね」と話していました。

### 今後の協議会 について

安倍座長は「大阪では個人タクシーも含んでおり、仙台も協力していただけるようにお願いする」と意見を述べました。

### 事業計画は 労使で議論を

日交支部でも、地域計画をもとにまとめられる、グ

ラインキャブ仙台支社の特定事業計画について、策定前に労使双方で折衝を行うよう、10年春闘の要求として掲げており、今後団体交渉でさまざまな取り組みについて話し合いが行われます。日交支部としては、労働条件の大幅な改善が実効性ともなうように交渉をすすめて、春闘を取り組んでいきます。

# 生計費に 地域格差はない

## 生計費試算調査報告集会

3月27日、青葉区の仙台メディアアテックにおいて、全労連東北地方協議会主催「憲法25条に基づく、最低賃金の引き上げを！生計費試算調査報告・最賃学習会」が行われ、東北各地方から78名が参加しました。

(日交支部からは5名が参加しました)

開会にあたり、東北地方協議会薄議長は「郵政の非正規雇用者の一部が正規雇用になり、NNTの派遣が継続雇用になった」と運動の成果を紹介し、「最低賃金を1000円以上に引き上げる根拠となる調査結果を発表

できることになりました。東北の最低賃金闘争の前進にむけ、集会を盛り上げていただきたい」と挨拶しました。

講演で、「生計費試算調査」の結果を金澤誠一佛教大学教授が報告し、「最低生計費は、家賃や車の所持や移動など生活内容の違いがみられるものの総額でみると、その違いは相殺され水準となつている。生活保護や最低賃金で想定しているランク付けは根拠のないものである。労働組合が要求している全国一律最賃の根拠を示す結果となつた。確信を持って最低賃金1000円以上、全国一律

最賃制度の実現に向かつて運動を展開すべきである」と見解を示しました。

伊藤恵一全労連調査局長は「最低生計費を保障しうる最賃で、みんなの賃金底上げを！」と題し、最低賃金を引き上げることにより労働者の消費購買力が上がり景気は良くなる。企業の人件費は増えるが、定着性が良くなり無駄な経費が減る。また、労働者の熟練度が上がり生産性が向上する。納税額が増え、政治も良くなるなどメリットや運動の方向性、全労連の取り組み最賃運動の方針を報告しました。

取り組みの交流では、日交支部から高橋支部長が「タクシー業界では最賃違反が蔓延している。業界全体を変える運動に取り組む。協議会の結果を見ながら春闘を闘っていく」と報告しました。



報告する高橋支部長(上)と参加風景(下)



# 雇用保険の取り扱い 学び理解深める

## 執行部学習会

4月10日、日交支部は組合事務所にて「雇用保険の取り扱い」の学習会を開催しました。

高橋支部長が講師を担当し、「雇用保険の基本手当は年齢や被保険者で

あった期間、特定受給資格者や特定理由離職者か否かで違いがある。理解して組合員から質問などあった場合は対応してほしい」と話しました。

## 均等待遇 最賃引き上げなど

# 行進で市民に訴え

## パート・臨時・派遣労働者連絡会



4月10日、宮城県パート・臨時・派遣労働者連絡会は、せんだいメディアアテック スタジオシアターで、春の集い&第8回総会を開催し、一年間の総括や今年度の活動方針案、役員案が採択され、新代表に宮城一般から星 千鶴子さんが代表に選出されました。

2部では、学校教師デユオ「HAGE&WAZKA」のコンサートが行われました。

集会終了後は会場からダイエーまでアピール行進があり「パートの均等待遇を実現しよう」などシュプレヒコールをあげながら行進しました。



行進と風景(上)とガンパロウ(下)



# 日交支部厚生部からのお知らせ

## 厚生部加入の皆様へ

全労済のセット共済に加入いただき誠にありがとうございます。全労済と日交支部の間で契約しているセット共済は1年契約となっております。今回更新時点の総口数平均年齢が3歳あがり59歳となりました。これに伴い現在6,546円の掛け金が一律935円引きあがり7481円となりました。また、増口で加入されている方も増額となりました。4月の給料から変更しています。(契約期間22年5月1日から23年4月30日に変更)

個人情報保護法との兼ね合いから、個々の詳細については組合事務所で説明及び相談をさせていただきます。春の健康診断にあわせて、共済内容の再度確認をお願いします。